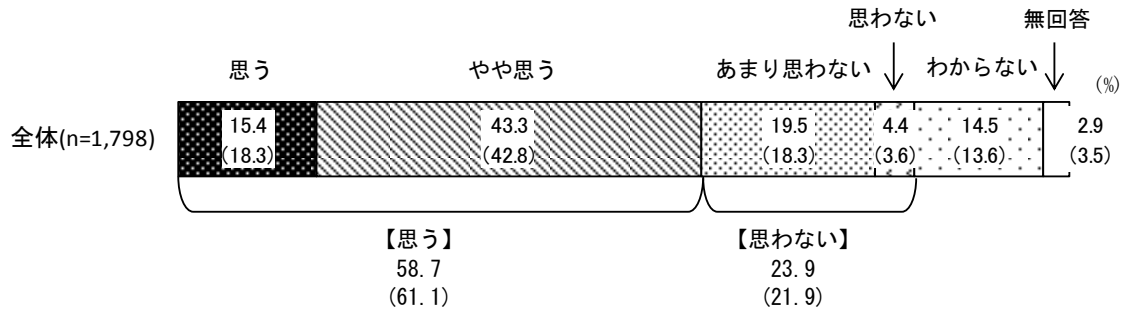


## X 茨城県に対する成長期待

### 1. 茨城県の成長期待度

#### －【思う】が約6割－

問35 あなたは、茨城県は、今後、経済、生活、教育、文化など様々な面で良くなっていくことが期待できる県だと思いますか。（○は1つだけ）



茨城県の成長期待度について、「思う」（15.4%）と「やや思う」（43.3%）を合わせた【思う】（58.7%）が約6割となっている。一方、「あまり思わない」（19.5%）と「思わない」（4.4%）を合わせた【思わない】（23.9%）は2割台半ばとなっている。また、「わからない」（14.5%）が1割台半ばとなっている。

#### －「思う」が約3ポイント減少－

前回調査（昨年）と比べると、「思う」が約3ポイント減少している。

#### －女性の60～64歳で【思う】が約7割－

性・年齢別でみると、【思う】は、女性の60～64歳（69.1%）で約7割と最も高くなっている。

#### －男性の30代で【思わない】が約4割－

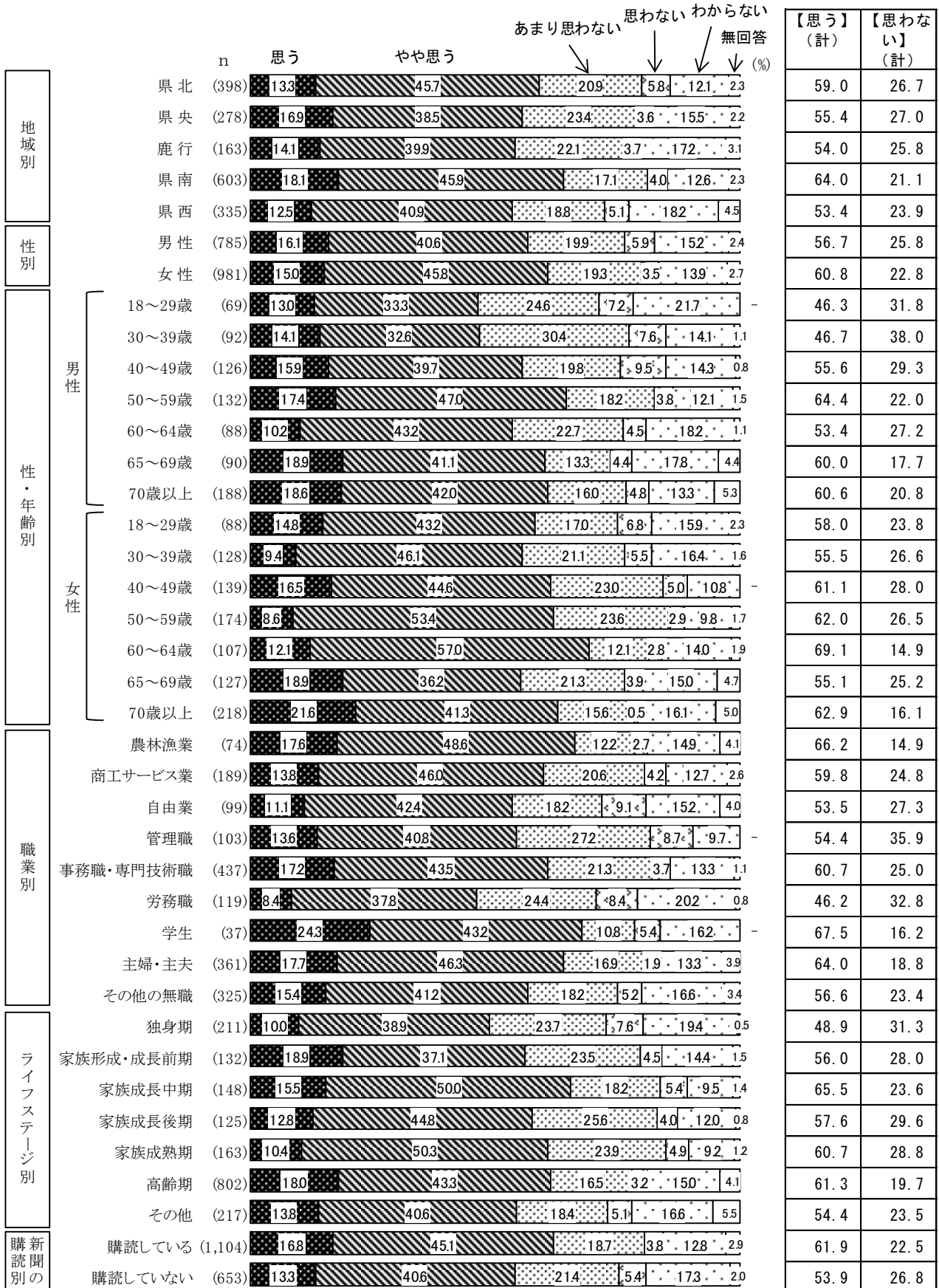
性・年齢別でみると、【思わない】は、男性の30代（38.0%）で約4割と最も高くなっている。

#### －新聞購読者で【思う】が新聞未購読者よりも8ポイント高い－

新聞購読の有無でみると、【思う】は、購読者（61.9%）が未購読者（53.9%）よりも8ポイント高くなっている。

図X 35-1 茨城県の成長期待度

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 新聞の購読別)

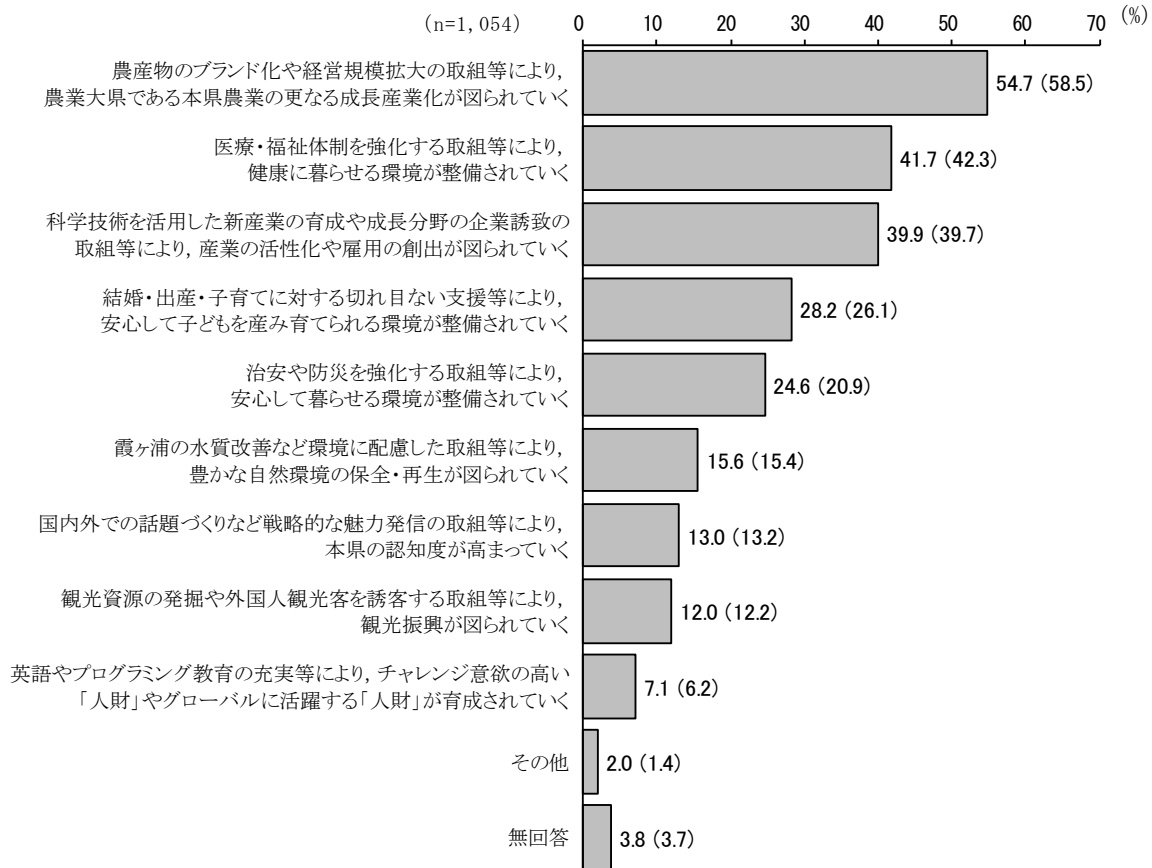


## 2. 茨城県に今後期待できること

### －「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」が5割台半ば－

(問35で「1. 思う」「2. やや思う」と回答した方へ)

問35－1 今後、県民の方々の夢・希望の実現に向けて、茨城県に期待できると思う項目をお選びください。(○は3つまで)



※( )内の数値は、平成30年の調査結果

茨城県に今後期待できることとしては、「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」(54.7%)が5割台半ばと最も高く、次いで、「医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく」(41.7%)が4割を超え、「科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく」(39.9%)が約4割で続いている。一方、「英語やプログラミング教育の充実等により、チャレンジ意欲の高い「人財」やグローバルに活躍する「人財」が育成されていく」(7.1%)が1割を切っており最も低くなっている。

### －「治安や防災を強化する取組等により、安心して暮らせる環境が整備されていく」が約4ポイント増加、「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」が約4ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、「治安や防災を強化する取組等により、安心して暮らせる環境が整備されていく」が約4ポイント増加し、「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」が約4ポイント減少している。

**－女性で「医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく」が男性よりも約10ポイント高い－**

性別でみると、「医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく」は、女性（46.0%）が男性（36.0%）よりも10ポイント高くなっている。

**－男性で「科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく」が女性よりも約15ポイント高い－**

性別でみると、「科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく」は、男性（48.1%）が女性（33.4%）よりも約15ポイント高くなっている。

**－女性の60～64歳で「医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく」が約6割－**

性・年齢別でみると、「医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく」は、女性の60～64歳（58.1%）で約6割と最も高く、次いで、女性の65～69歳（52.9%）、70歳以上（52.6%）で5割を超えて高くなっている。

**－男性の70歳以上で「科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく」が約6割－**

性・年齢別でみると、「科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく」は、男性の70歳以上（57.0%）で約6割と最も高く、次いで、男性の50代（50.6%）、65～69歳（50.0%）で約5割と高くなっている。

**－女性の18～29歳で「結婚・出産・子育てに対する切れ目ない支援等により、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されていく」が4割超－**

性・年齢別でみると、「結婚・出産・子育てに対する切れ目ない支援等により、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されていく」は、女性の18～29歳（41.2%）で4割を超えて最も高くなっている。

**－農林漁業で「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」が6割台半ば－**

職業別でみると、「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」は、農林漁業（65.3%）で6割台半ばと最も高くなっている。

**－主婦・主夫で「医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく」が5割超－**

職業別でみると、「医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく」は、主婦・主夫（52.8%）で5割を超えて最も高くなっている。

**－家族形成・成長前期で「結婚・出産・子育てに対する切れ目ない支援等により、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されていく」が約5割－**

ライフステージ別でみると、「結婚・出産・子育てに対する切れ目ない支援等により、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されていく」は、家族形成・成長前期（48.6%）で約5割と最も高くなっている。

図X 35-1-1 茨城県に今後期待できること

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)

農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく

医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく

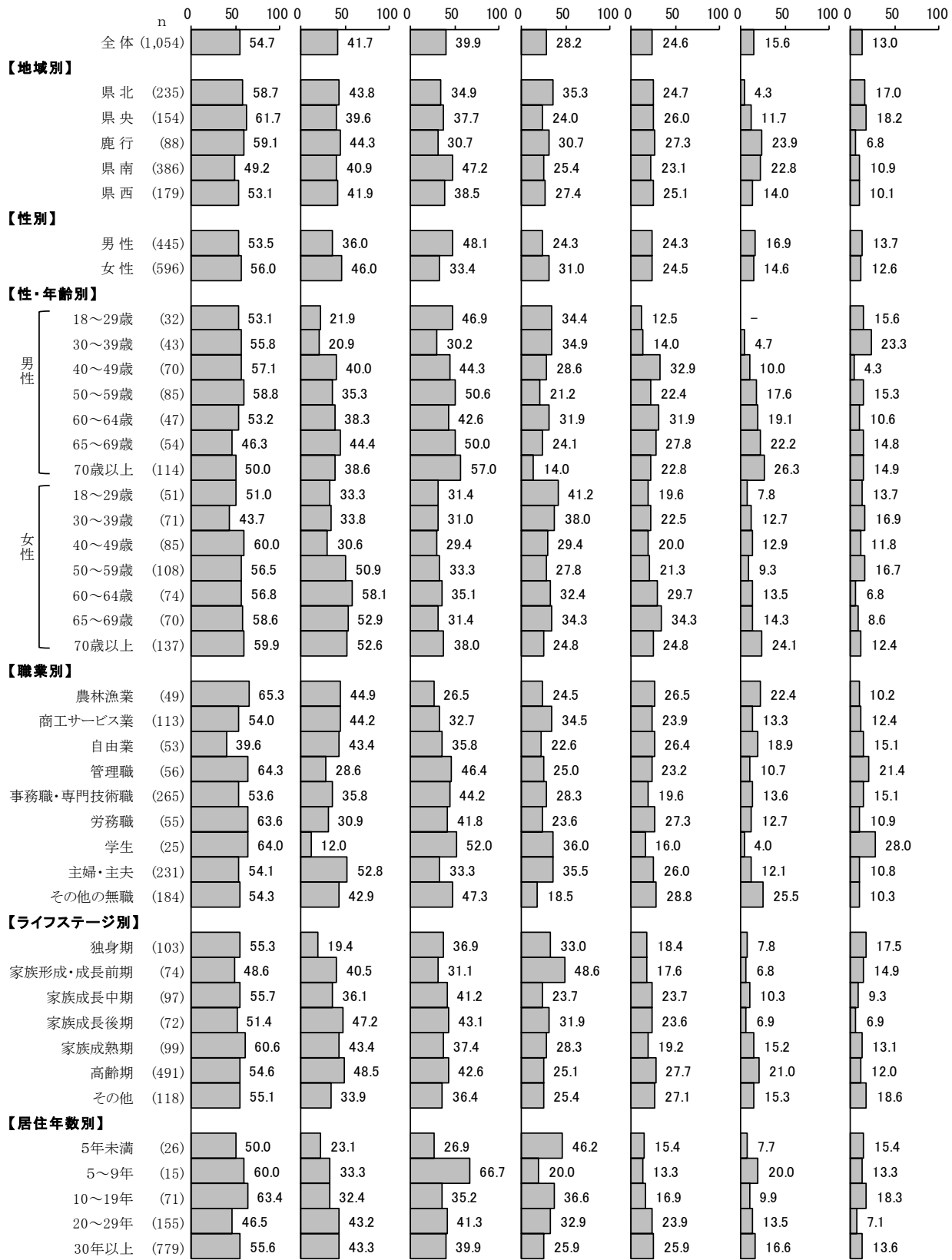
科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく

結婚・出産・子育てに対する切れ目ない支援等により、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されていく

治安や防災を強化する取組等により、安心して暮らせる環境が整備されていく

霞ヶ浦の水質改善など環境に配慮した取組等により、豊かな自然環境の保全・再生が図られていく

国内外での話題づくりなど戦略的な魅力発信の取組等により、本県の認知度が高まっていく



### 3. 茨城県に期待できない理由（自由記載の集計と一部抜粋）

－「これまで特に成長したと感ずるところがない／変わらない」が最も多い－

（問35で「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答した方へ）

問35－2 期待できないと思う理由は何ですか。自由にご記入ください。

順位	項目	件数
第1位	これまで特に成長したと感ずるところがない／変わらない	51
第2位	県政の情報・魅力が十分に伝わっていない	42
第3位	人口減少・首都圏への人口流出・過疎化の進展	41
第4位	本県の魅力が少ない	39
第5位	企業活動等が活性化していない	37
第6位	施策が効果的でない・税金が有効活用されていない	29
第7位	少子化・高齢化の進展(それらへの対策不足を含む)	27
第8位	県内の地域間格差が大きい	25
第9位	インフラの整備が進んでいない(公共交通の便が悪いなど)	22
第10位	雇用環境が良くない	21
〃	茨城県民の気質のため	21
第12位	今の政治・行政には期待しない	20
第13位	教育を取り巻く環境が脆弱	11
第14位	医療機関が少ない／医師が少ない	9
第15位	わからない・なんとなく	8
第16位	治安に対する不安	5
〃	農業の衰退	5
第18位	国全体がよくならないと	4
第19位	原発や自然災害に対する不安	3
〃	成長しなくてよい	3
-	その他	9

※回答内容ごとに項目へ分類。

※一人の回答が複数の内容に渡る場合には、それぞれの項目へ分類。

茨城県に期待できない理由（自由記載）としては、「これまで特に成長したと感ずるところがない／変わらない」が最も多く、次いで、「県政の情報・魅力が十分に伝わっていない」「人口減少・首都圏への人口流出・過疎化の進展」「本県の魅力が少ない」が上位に挙げられている。

## 「これまで特に成長したと感じるところがない／変わらない」 (51件)

### [記載内容の抜粋]

- ずっと変化をあまり感じないので、今後も変わらないように思います。(女性, 18～29歳)
- 場所によっては、良くなる所もあるかもしれないけど、全体的に見ると良くなっていくことに期待はできないと思う。今までに良くなったなと思うことがなかったため今後にも期待ができない。(女性, 30～39歳)
- さまざまな事に取り組んでいるが代わり映えがしない。(男性, 30～39歳)
- 50年以上茨城に住んでいるが、様々な面で良くなっていると思えず、今後良くなっていくとあまり思わない。(男性, 50～59歳)

## 「県政の情報・魅力が十分に伝わっていない」 (42件)

### [記載内容の抜粋]

- 今までの取り組みに対しても特に突出して改善されたという印象がない。「茨城県独自」「これを力入れていく」のような強いメッセージがないように思う。(女性, 40～49歳)
- めだった観光地が少なく、茨城県と言っても全国の人は知らない。もっと茨城のよさをアピールした方がよいのではないか。(女性, 70歳以上)
- 情報が少なすぎて何をやっているのか、何をやろうとしているのかわからないから。(男性, 50～59歳)
- 良い特産物や、観光名所があるが、PRが消極的と思う。県の知名度、人気を高めてほしい。(男性, 30～39歳)

## 「人口減少・首都圏への人口流出・過疎化の進展」 (41件)

### [記載内容の抜粋]

- 人口が減少で活気が感じられない。今住んでいる行政区(班)でも空き家が多く、子供は一人もいません。高齢者家族ばかりなので精神的な不安があります。(女性, 70歳以上)
- 少子化で、小学校や中学校が1クラスだったり、学校が統合されていく。子供会などもなくなり、高校を卒業すると、東京や千葉などへ大学進学したり就職したり…といった話をよく聞きます。人口減少している中で期待は出来ないとします。(女性, 40～49歳)
- 若い人達の人口流出…魅力的な企業がありません、意欲を持って取り組む環境が整ってないように思う。興味を持てるような参加型のイベントなどをもっと増やして地元のために頑張れるモチベーションを育成して欲しい。(男性, 40～49歳)
- 将来を支える年代は10～30代なのにも関わらず、その層へアプローチする方策が少なすぎる。若者は自然減していき、結局県を支える人口が減るため、活気の減退が予測できる。(男性, 18～29歳)

## 「本県の魅力が少ない」 (39件)

### [記載内容の抜粋]

- 茨城には魅力がない！魅力度ワーストNo. 1も分かる気がします。県民に「盛上げて行こう」という気持ちがないと思う。(男性, 40～49歳)
- 魅力を感じない、中途半ばだと思う。住みやすいと思うがパツとしない。(女性, 40～49歳)
- 茨城にはコレと言うものが無い。(女性, 50～59歳)
- 住民の真意が、県行政にきちんと反映されているのか、疑問である。ここ近年全国魅力度ランキングで最下位と言われ、県民として非常に悔しい。魅力度とは、そのランキング向上のために施策を打った結果上昇するのではなく、日頃地道に行われている行政の結果ではないかと考える。茨城に住みたい、行きたいと思わせる。様々な基盤の整備を県民目線で進めて欲しい。(男性, 40～49歳)